

地盤調査規格・基準委員会

平成21年度第1回 議事録

日 時	平成21年 5月13日 (水) 14:00 ~ 17:00			場 所	地盤工学会 会議室			
委員長	谷 和夫		幹事(岩)	長田 昌彦		幹事(土)	利藤 房男	
委員	別木 孝	×	WG1委員	松島 潤	×	WG1委員	林 宏一	
WG2委員	木村 英雄		WG2委員	水谷 崇亮		WG3委員	井尻 裕二	×
WG3委員	小松 満		WG4委員	平林 弘		WG5委員	小早川 博亮	
WG5委員	山本 裕司		WG6委員	中村 洋丈	×	WG7委員	浅井 健一	
WG7委員	藤崎 勝利	×	WG8委員	日比 義彦		WG8委員	藤根 拓	

: 出席 : 代理出席 × : 欠席 : 未定

配布資料

委員会名	資料	資料の有無・番号
地盤調査規格・基準委員会	・ 前回議事録 (H21-3-3)	・ 資料21-1-1
岩盤不連続面の調査方法基準化委員会	・ 基準の解説	・ 資料21-1-2
ワーキング5,6	・ JISA1214砂置換法による土の密度試験方法改正案 ・ JISA1215道路の平板載荷試験方法改正案 ・ JISA1222現場CBR試験方法改正案 ・ 修正箇所一覧表 ・ 用語及び定義の追加案	・ 資料21-1-3(1) ・ 資料21-1-3(2) ・ 資料21-1-3(3) ・ 資料21-1-3(4) ・ 資料21-1-3(5)
地盤調査規格・基準委員会	・ 地盤調査方法と解説の改正の方針案	・ 資料21-1-4
初期地圧の測定方法基準化委員会	・ なし	・ なし
基準部会	・ 委員会活動状況レビューシート	・ 資料21-1-5
基準部会	・ 平成21年度第1回議題書	・ 資料21-1-6
土木技術専門委員会	・ JIS改正時の留意事項	・ 資料21-1-7
WG4 サウンディング	・ ワーキング議事録 (H21-4-10)	・ 資料21-1-8
WG11 スウェーデン式サウンディング	・ ワーキング議事録(H21-4-10、H21-5-7)	・ 資料21-1-9
会員からの質問	・ 質問内容と回答	・ 資料21-1-10

審議事項

(1) 前回議事録確認(資料21-1-1)

特に意見なし。

(2) 岩盤不連続面分布の幾何学的情報に関する調査方法 基準の解説(資料21-1-2)

審議結果を基に修正し、次回(6/19予定)基準部会の報告事項

審議において出た意見は以下の通り。

- ・ ウィンドウ法において、二つ以上のウィンドウにわたる不連続面の接続関係が分かりにくいので、3-7章に分かりやすく記載する。
- ・ 参考文献の外国人の記載、「姓」を先にする。[2]は、2)の表現に変更する(地盤調査の方法と解説を確認して、それと整合させる)。
- ・ 図表のタイトルは、「図2:」 「図2」(:不要)。

- ・ 走向傾斜、傾斜変位の用語を説明すべき。 3pの3.4.2章で記載する。
- ・ その他修正事項の指摘が有る場合には、長田幹事に5月末までに送ることとする。
- ・ 修正後の最終原稿をメール審議したのち、次回基準部会（6/19予定）にあげる。

(3) JIS改正3案（JISA1214、1215、1222）（資料21-1-3(1)～(5)）

審議結果を基に修正し、次回（6/19予定）基準部会の審議事項

審議において出た意見は以下の通り。

<JIS A 1214>

- ・ 5.1.2 注記2「砂に振動を与えないようにすることが望ましい」は、前回のJISよりも緩くなる、注記なので規格でないことより、本文中に記載する。
- ・ 5.2.1c) 「できるだけ直に」「できるだけ鉛直に」に変更する。
- ・ 7 報告事項に単位を記載する。
- ・ 変数は斜体とする。

<JIS A 1215>

- ・ 3a) 「載荷版」「載荷板」に修正。
- ・ 3b) ジャッキと荷重計は分けて記載する。「精度がその能力の1/100以上の荷重」「その能力の1/100以下の荷重」に変更する。
- ・ 3c) 「最小目盛りが1/100mmで、最大20mmまで測定できる」「最小目盛りが1/100mm以下で、最大20mm以上まで測定できる」に変更する。
- ・ 6f)及び図1タイトル、「～を示す曲線の例」は削除する。
- ・ 6 報告事項に単位を記載する。

<JIS A1222>

- ・ 英文、「in place」妥当な表現か確認する。「soil」は「soils」に変更する。
- ・ 変数は斜体とする。ただし、CBRIは直体で可。
- ・ 4.1d) 「最小目盛りが1/100mmで、最大20mmまで測定できる」「最小目盛りが1/100mm以下で、最大20mm以上まで測定できる」に変更する。
- ・ 7 報告事項に単位を記載する。

<用語及び定義の追加に関して>

- ・ 標準用語では、「路床」、「路盤」以外は本質的なものでないので、標準用語の範囲にとらわれずもう少し広い範囲で、本質的なものを選定する。
- ・ 「ピクノメータ」、「安定処理」、「標準載荷圧力」は追加する。

(4) 地盤調査の方法と解説の改正の方針案（資料21-1-4） 次回（8/3）地盤調査規格・基準委員会で継続審議

前回の改正時の情報、次回改正に関する方針等に関して議論した。

- ・ 前回は章毎に小冊子にして発行したほうがよいとの意見があった。
- ・ 前回は、岩盤の基準を加えたので、「地盤調査の方法と解説」にタイトルを変更した。
- ・ 杭とアンカーは特別で、別途冊子が出ているので対象としなかった。
- ・ 現在あるJGSの一覧に、JGS 3811-2004が抜けているので追加する。
- ・ 次回の改定では、JISフォーマットへの書換えが必要である。
- ・ 前回の改定作業は「編集委員会」で基準を作成し、基準部会直轄の組織で解説を検討した。ただし、両者のメンバーはほとんど同じ。基準の作成に約2年、その後解説を検討した。
- ・ 次回の改定作業は、現在のワーキング組織を踏まえた形でやっていく。次回委員会までに、各ワーキングのリーダー及びメンバーを検討し審議する。幹事のほうでは、基準のリストをきれいに作成する。

(5) 初期地圧の測定方法の基準番号（資料なし） 次回（6/19予定）基準部会の報告事項

下記の番号は、承認された。

JGS 3541-2009 埋設ひずみ法による初期地圧測定方法

JGS 3551-2009 円錐孔底ひずみ法による初期地圧測定方法

(6) 中長期アクションプラン達成度評価（資料21-1-5） 基準部会幹事へメールにて送付する

特に意見無く、承認された。

報告事項

(1) 基準部会議事録(資料21-1-6)

特に意見なし。

(2) JIS改正時の留意事項(土木技術専門委員会)(資料21-1-7)

下記件を確認した。

- ・ 各JISで用語の定義を充実させる。定義した用語は、表記法委員会に提出し審議する。
- ・ 「注記」は、規格に含まれないので、規格として必要なものは本文に入れる。

(3) ワーキング4、11報告(資料21-1-8、21-1-9)

- ・ 「パレル」、「パーレル」どちらを使用するかは、前回JIS改正で「パーレル」とすることになっている(WG4)。
- ・ 基準部の公募に申し込んでいる方がありスウェーデンに詳しい。スウェーデンのワーキングに入れることを検討してもらいたい。ワーキングのリーダーにその旨打診する(WG11)。

(4) 会員からの質問と回答(資料21-1-10)

- ・ 会員からの質問には、これまで同様関係ワーキングの担当者が対応し、委員長と幹事で内容を確認する。専門性が高く、回答に苦慮するものは前回青本の執筆者に確認する。